NIE実践報告

1．タイトル：☆日々の学習に新聞を

2．学校名

大阪府大阪市立玉出中学校

3．実践者名（代表者名）

河野美穂

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間・道徳　115人

6．単元（本時の学習課題）名

「パラリンピックから学ぶ・感じる・考える」（人権学習）

7．目標(狙い)

2008年に開催されたパラリンピックの関連記事を題材に、ことばの意味を理解する、必要な情報を探し出す、物事について深く感じる・考える、自分の意見を述べるなどの力を養う。

8．評価の視点

正しくことばを理解し、必要な情報を探し出せたか。また記事を読んで感じたこと・考えたことを適切に表現することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

道徳　2時間　コラム・投書欄の書き写し　総合的な学習の時間　3時間　記事の読み取り，内容の要約と意見文の作成　総合的な学習の時間　4時間　環境をテーマに、内容の読み取り・意見文の作成

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①『「呼び捨て」という称号』コラムの書き写し、記事の読み取り、語句の確認(1時間)
②障害者スポーツと報道のあり方　各社記事の読み取り、考察(1時間)
③『障害者「スポ」不十分な理解』投書欄の書き写し、記事の読み取り、語句の確認(1時間)
④パラリンピック　今大会の戦績と出場選手について　各社記事の読み取り、考察(1時間)
⑤障害者スポーツについて考える:意見文の作成(1時間)
(留意点)
・パラリンピックに関する各社の記事を取り上げ、資料として活用した。
・記事の書き写しについては、難しい漢字や用語に傍線をつけ、読み仮名をつける・意味を調べるなどの課題も合わせておこなった。
・記事の読み取りについては、ただ読んで要約する・意見文を書くだけでなく、ワークシートで一問一答形式の作業(例:「この記事の筆者が報道に望むことはどんなことですか?」など)も取り入れ、より深く記事を考察できるようにした。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

書き写しの作業については、「しんどい」と不評も多かったが、実はNIEの取り組みで最も集中して取り組んでいたのがこの書き写しの作業であった。パラリンピックはオリンピックより報道量が少なく、生徒に予備知識があまりないためか、「知らんかったわ」「こんなんおかしいやんなぁ?」と、素直な反応が多く見られた。

12．成果と課題

昨年に続き2年目の実践となった今年度は、単発的でなく日々の学習のさまざまな場面で新聞を活用することを目的に取り組んだ。上記のテーマ以外にも、『阪神大震災に学ぶ・感じる・考える(防災学習)』(3時間)、『現代短歌に挑戦!』(1時間)，『アメリカ大統領選挙』『麻生新内閣』『メディアリテラシー』『循環型社会をめざす』『身近にできる国際協力』(社会科の授業で)などのテーマで記事を活用した。

2年目ということもあってか、記事の読み取りはずいぶんスムーズにできるようになった。また、自分の感想や意見をワークシートいっぱいに書く生徒や、日々のニュースを話題に話しかけてくる生徒が以前より多く